

Sho-Comi
まんが
アカデミア

達人に聞け

まんがが上手になりたい! でも、作画にストーリーに演出...いきなり全てをアップデートするのは難しい。だったら、まずはひとつ自分の「武器」を手に入れよう! そのためのテクニックを、その道の達人であるまんが家先生に直撃インタビュー。月イチだけのスペシャル連載です!!

第17回 キラキラ演出の達人

水瀬藍先生

青春ヒーローテーション

2年生になった奈緒と様名。新入部員の音が奈緒に告白して三角関係突入か!? ...と思いきや、奈緒と様名の仲はよりラブラブ。そしてついに初めての温泉旅行へ——! キラキラまぶしい青春ラブ



運命の出会い、胸高鳴る告白。少女まんがには、いつだってキラキラがあふれています。華やかなトーンで画面を彩るのは、少女まんがには必要なこと。しかし「キラキラさせることが大切な」ではなく、「物語の演出として必要であればキラキラさせる。ことが大切なんです」と語るのは、「青春ヒーローテーション」を大人気連載中の水瀬藍先生。水瀬先生といえは、ただでさえまぶしい青春ラブを、卓越したトーンワークでよりキラキラに輝かせてきた、まさに「キラキラ」の達人です。「キラキラを考える前に、盛り上げたい場面をどう見せるかを考えることが大前提」と言う達人に、キラキラの極意を聞きましました!

その① キラキラ演出は単独コマで行うものに非ず

以前登場していただいたときにも話が出た「視覚効果」は、キラキラ演出でも生きてきます。「トーンは貼りすぎると逆に暗くなるので、視覚効果を利用して明暗のバランスを取ります。トンネルを抜けたときにまぶしく感じるのと同様、黒い画面の後に白い画面がくれば、それだけで明るく感じてもらえるんです」。



前のページの「めくり」であるコマと版外に暗いトーンを貼る



夜のシーンを左隣に配置

▶同ページ内でも視覚効果は発動。暗いコマがあると、キスシーンがキラキラに!

視覚効果を利用する

「“キラキラ”な場面はキャラの感情が大きく動く場面。単に華やかにすればいいというものではありません」と水瀬先生が言うように、コマ割りなどと同様「キラキラ」も、その場面をどう見せるかという演出のひとつ。だからこそ「流れの中で考えることが重要」なんだとか。「私の場合は常に“次のコマをどう見せたいか”を考えて描いているので、キラキラ場面の前のコマほどしっかり考えます」。

キラキラ度を調整する

「キラキラ場面が複数ある場合は、一番キラキラさせたいコマを決めて、その効果を超えないように調整しています」と先生。見せ場を全て全開でキラキラさせてしまうと単調になり、読者が飽きてしまいます。全体を通してメリハリを!



▲クリスマスデート回。嬉しいような様名のキラキラ場面の4ページ後に最大の見せ場・キスシーンが。火花の演出もプラスしてキラキラ度をMAXに!

その② 光と影を支配する

キラキラを演出するためには「必ずしも正しい光源で光を入れてなくても大丈夫」と先生。「あえて光の差さない場所を明るくしたり、かっこよく見せるため大胆に影を落としたりすることも多いです。特に影は、逆光やキャラの心情を表すことができ、演出ではとても重要です」。たしかに先生は、影トーンの線数をこまめに変えています。画面上の全ては演出につながるのです。

光

どう見せたいかで光源は変わる



影



▲上のコマは逆光に見えよう、荒い目の影トーンで仕上げ。「悲しいシーンにはたくさん使ったので、明るく見えるような影トーンを選びました」と先生

▶本来なら光の差さない体育倉庫内に、光が舞うようなキラキラトーンを。正しい光源で暗くするよりも、ドキドキときめきが伝わります。

上: 荒い目の影トーン 下: 細かい目の影トーン

その③ キラキラを取るかリアルを取るか

達人のトーンワークで驚くべきは、様名の髪トーンが多様なバリエーション。「どういう風に見せたいかで、貼るべきトーンも決まります。キャラがまるで目の前にいるかのようなリアルさを出したいならシンプルに、しかしキラキラ度は薄まるので、キラキラにしたいならそれにふさわしいトーンを貼ることが重要です」。

リアル ← → キラキラ



▲「読者にヒロイン気分を味わってほしいドキドキの場面では、リアルさ重視でシンプルなトーンを使用します」

▲「背景が映りこむような印象の木陰のトーンなら、リアルさを醸しながらもキラキラも感じさせることができます」

▲「ここキラキラしてますよ!と一発でわかってもらいたいので、現実ではありえないキラキラなトーンを貼りました」

キラキラ演出の達人への道はまず「研究」から!!!

「私もやっていたけど、まんがを読んでキュンとしたり盛り上がったときは、どうしてそうなったのかを考えてみてほしいです。ここに光が入るからか!とか、点描の大きさが他と違う!とか、意識して見ていけば気づくことはいっぱいあるはず。プロの演出からたくさん学んでくださいな」

番外編 先生のイチ推しシーン!

達人自らが「お気に入り」というシーンは…?

キラキラの青春が描けたー!というシーン



「バックにトーンを貼るか迷いましたが貼ってよかったです」

▲先生が「トーンを貼ったことでスピード感も出た」という、水野先輩の最後の雄姿。編集部内でも「鳥肌が立った!」「奈緒たちにはこう見えてんだなって心から思えた」と絶賛された青春感炸裂の1コマです。

萌えにあふれたシーン



ヤンキーが好きすぎて描きました(笑)

▲「ヤンキーまんがが好きなんです。最初の長期連載もヒーローはヤンキーでした」という先生が描く、様名くんのヤンキー座り、最高にキマってます!

次回(7号)は

見せ場の達人

くまがい杏子先生

お楽しみに!!!